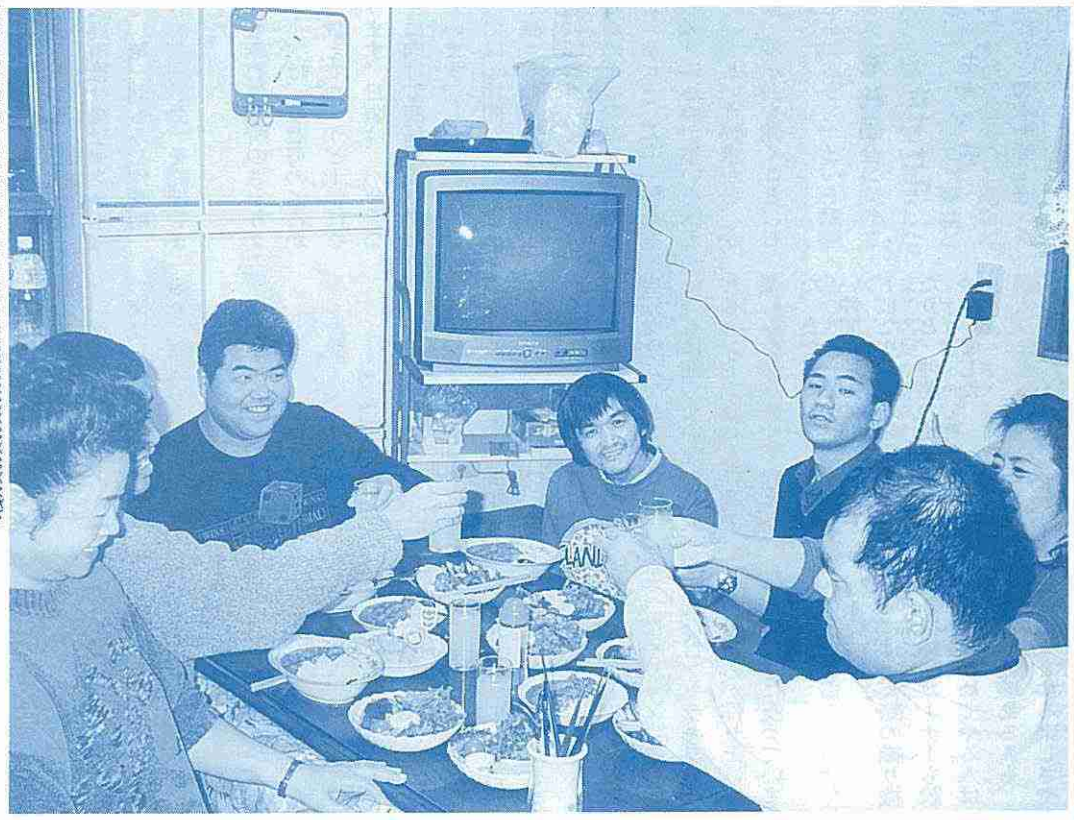
がんばろうや

もみじ福祉会ニュース

発行／社会福祉法人　もみじ福祉会
第一もみじ作業所・第二もみじ作業所・グループホーム つばさ

1999年2月
第18号

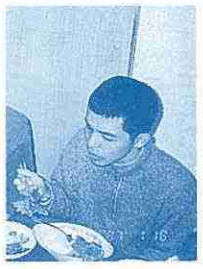
広島県広島市中区吉島西2－1－24
〒730-0823　TEL(082)243－0331
FAX(082)243－0497



飛べ　グループホーム　つばさ

「僕の家」という感じに

中田喜直



グループホーム「つばさ」が始まって、二ヶ月になります。まだまだ解らないことばかりですが、そこでの生活は楽しいことが、いっぱいあります。一緒に生活している仲間とお話しをしたり、また、世話人さんがとても親切で、本当に美味しい料理を沢山作ってくれ、よくお世話をしてくれます。

でも、時々少し寂しくなることもあります。将来の事を考えて「つばさ」を利用しようと思ったのですが、今までお母さんと二人で生活してきたので離れてくらすことが心配で寂しいです。また、生活するのに必要な物がそろっていないため、不便な面があります。これから少しずつ色々な物を揃えて、僕の家という感じにしたいです。

みんなで遊べるものを

森坂美登志

グループホームにだいぶ慣れて来た。グループホームの楽しい事は、ひとりずつ部屋があって好きなテレビが見られること、時々、ちょっと食事時間が早いのが玉にキズだけど、毎日、世話人の人が夕ごはんを作ってくれて、そのおかずを全部食べられるのがうれしい。いいおかずを作ってくれるけえうれしい。すきやきとかの鍋物が好き。

これからは、もっと部屋の模様があった方がいい。まだ、部屋が寂しいけえ。遊ぶものが欲しい。オセロや将棋、花札とかトランプとかみんなで遊べるものが欲しいなあ。

みんながいるから

跡野省司

みんなで泊まる「つばさ」は楽しい。
ひとりはさみしい。
みんなで食べるごはんもおいしい。
ぼくのひげをそったら、のりさんのひげをそってやる。

「早く帰りんさい…」と

松井徳夫（母）

グループホームつばさに入所させて頂き、本当に良かったと思います。徳夫は何も話せませんので詳しくはわかりませんが、家に帰った時の様子やしぐさをみて、ほっとしています。

「つばさ楽しかった？また行く？」にしっかり手を上げます。一緒に入所している仲間には、いろいろ世話をしてもらっているそうです。我慢もしてもらっていると思います。

夕方荷物を持って行き、布団の片付けをしていると、私の上着を渡して「早く帰りんさい…」と。親離れはしっかり出来ました。自立訓練やつばさで仲間と多くの経験や体験をさせてもらったおかげと思います。

これまでは徳夫のことだけ考えていればよかったのですが、私自身が年を取り、何かあったらどうしようか？今日一日大丈夫かしら？と思う日が多くなりました。

早く仲間みんながグループホームに入所出来るように、そして入所施設が出来ることを願っています。

いろいろ準備をして下さった方々、お世話をして下さる職員の方々に、心より感謝致しております。

これからもよろしくお願い致します。

「カンパーイ！」元気な声が響きます。十二月。グループホームつばさ開設初日の夕食。仲間四人と世話人はもちろん、もみじのすべての関係者それぞれの、大きな期待とちょっぴりの不安をのせて、グループホーム第一号「つばさ」のスタートです。

この日にむけて、一九九五年よりスタートした宿泊訓練はすでに三巡目を終了。その成果はどうでしょうか？

「どんな生活がしたいか」みんなで話し合いもしてきました。……でも、というか、やはり、というか……、「＊＊君はご飯を食べ過ぎだよ！」「一人で寝たことないんよ……」「散歩に行ってもいいのかな？」「風呂の順番はどうしようか？」「髭はうまくそれるかな」「食器洗いはどうする？」「洗濯機がちゃんと使えるかな？」……家庭を離れての、初めての共同生活。難問・奇問がいっぱいです。

もう、宿泊「訓練」ではなく、「生活」の場。

でもそう意識できるようになるには、もう少し時間が必要か。仲間の成長に請うご期待です。

年男年女シリーズ　ことしもはねるぞ～

いっぱい友達をつくりたいと思います。僕が書いた詩に曲をはやくつけたい。今年も精一杯がんばります。

伊世伸一

不吉な年に年男を迎えて、何かがおこりそうな予感がしています。その『何か』が良いことでありますように!!

久保田勝也

今年は思いっきり跳びまわり、色々なことにチャレンジしていきたいと思います。

田中茂雄

今年はうさぎ年。私の年なのに、
私はすっかり忘れていました。
家ぞくみんな忘れていました。
でも私は仕事にがんばる女で
ぴょんぴょんはねちゃうよん。

太平亮子

安心できるホームに

指導員　久保田勝也

もみじ作業所の将来構想計画の第一歩として、『グループホームつばさ』を十二月に開所する事が出来ました。利用する仲間がくつろげ、安心して生活出来るような、楽しい場所にしていきたいと思っています。

当面は、広島市単独の補助金で運営するなど、クリアしなければならないハードルもありますが、もみじ作業所の夢の第一歩目として二歩目、三歩目へと弾みがつくように取り組んで行きたいと思います。これからもご協力よろしくお願いします。また、『グループホームつばさ』開設にご協力していただき、ありがとうございました。

みて！この模様 心が燃える さをり織り

～もみじ作業所 第一回 さをり展示会～

伝えたい織りに込めた私の思い

一月三十日、三十一日、広島市社会福祉センターにて「第一回もみじ作業所、さをり展示会」を開催しました。

もみじ作業所のさをりグループは、無認可のころから数えてちょうど十年になります。日頃は、バザーなどに向けて商品づくりをしています。しかし、それだけでは、仲間が思いを込めて織っても、気持ちがお客様に伝わりにくく、ただ売るためだけの織りをしてしまいがちでした。「私たちの織りに込めた思いを伝えたい」という要求から、今回、展示会を開くことにしました。

事務局立ち上げ キャッチフレーズ決まる

十月頃、仲間の木村さん、矢野さんと事務局を立ち上げました。その後も、テレビのPRで見て来られた方など、二日間で合わせて、約百四十名の方に来ていただきました。

仲間達も、予想以上の来客者にびっくり！ 事務局の仲間は目をキラキラさせて、自分たちが作り上げたという満足感に浸っていました。

会場には、実際の織り機を置き、体験コーナーも設けました。初めてやる人はもちろん、経験ある人も、自由に織りをする楽しさや良さを、改めて知ってもらう事が出来ました。

「規制概念にとらわれず、自由に織る」というさをり織りの理念をより多くの人に知ってもらい、一つ一つの織りに込めた仲間の思いが伝わった展示会でした。

そしてみんなの自信に

今回「自分たちの展示会」を意識し、仲間達の手、り上げた事は、今後様々な取り組みに生かさせること的な声もあがってきました。

また、展示会のキャッチフレーズを……ということで、みんなからの意見を元に、事務局で検討しました。「みんなの展示会だから、みんなの言葉を合わせよう」ということで、「みて！ この模様 心が燃えるさをり織り」に決めました。

目標は一人六本のマフラー

さて、キャッチコピーが決まったところで、展示物ですが、今回はマフラー重点を置いて取り組みました。目標は一人六本！ みんな自分なりにアレンジして、いつもは使わない色や柄などもドンドン取り入れて、楽しみながら織っていました。また、織るペースが遅い仲間に他の仲間がフォローしたり、残業を買って出たりと、仲間の頑張りが光っていました。

予想以上のお客様にみんな

中には、「さをりとは、一体どんな織りなのか」と熱心に聞いて来られた方もいらっしゃいました。

織りを、他人に評価されたことは、大きな自信につながりました。

仲間一人一人が主体者となり、輝ける展示会を今後も是非続けていきたいと思います。

最後になりましたが、展示会にお越し頂いたお客様、準備を手伝って下さったボランティア・保護者の皆様、本当にありがとうございました。

マフラーのオブジェ！ みんなの心がつまってます

シリーズ

僕の夢・私の願い

～私の胸は 夢でいっぱい！～

小西まり

いろんないろで、さをりをやるのが私のゆめです。こんどは、ほそいいとでやってみたいと思います。いろんないろで、かばんを作ってみたいのです。きれいないろでおってみたいです。

夕やけの色で、おってみたいです。

そらのように、おってみたいです。

趣味の「さをり織り」について夢を語ってくれた小西まりさん。ダンボールグループで仕事を張り切ってやっています。また、仲間の自治会の広報委員会で委員としてニュースを作ったり、夕方は居残っている人や職員のためにジュースを買いに行ってくれたりと、色んな場面で大活躍しています。そんなまりさんにちょっぴり質問してみました。

Q：では質問です。まりさんの趣味はさをり織りなんだね。他に好きなこととかあるかな？

A：家ではお母さんの手伝いをするのが好き。作業所では仕事が好き。

Q：仕事のどんなとこが好きかな？

A：みんなとやるのが楽しいかな。

Q：話は変わるけど、まりさんの将来の夢とかあったら聞かせてくれるかな？

A：一人で暮らしたい。でも今は家にいる。

Q：一人で暮らすためにはどんなことを練習したりすると良いと思う？

A：家事手伝いが出来るように。

Q：だから家でお手伝いしてるんだね。ちなみにどんなお手伝いをしてるの？

A：皿洗い、ふいて納めてます。でもちょっとガラスのコップは割れるのが怖い。あ、そうだ、洗濯は毎日やってるよ！

協力ありがとう、がんばってね！

お客様から元気をもらって

自治会「ひまわり会」販売委員会の取り組みから

自治会「ひまわり会」販売委員会は、夏と冬の年二回、仲間たちのボーナス資金作りのための販売活動を行っています。その販売活動は何年も続いており、そんな仲間たちのがんばっている姿に共感し、惜しみない協力をして下さる方々がたくさんいらっしゃいます。

皆さん全員をご紹介したいのですが、その中でも今回は「日本紙運輸倉庫」さんと「お日さまネット」さんを紹介させていただきます。

作業所の卸近所の日本と呼ばせていただいているのですが）はわたしにまかせて」とチラシを持って行ったり、商品の納品などに行っています。はじめは恥ずかしくて緊張してしまいましたが、職員を支えに何度か通ううちに、いつも暖かく迎えて下さる平田さんをはじめ、会社の方々に接して緊張もほぐれ、徐々に自信を付け、一人でもいくことができたり、ちゃんと内容が伝えられるようになりました。

またお日さまネットさんは、佐伯区の主婦の皆さんが、三堂さんを中心にアフ

いつもお日さまネットさんを担当しているクッキーグループの尾崎さんは、それに感動して「なんかうれしいわ」と泣き出しました。他の仲間もそれにつられ、じ～んと目頭が熱くなりました。

販売事業は、たずさわる仲間にとってはチラシや注文書の作成、配布、注文書回収、注文の集計、発注、納品書書き、仕分け、配達、集金、オリジナルギフトセット作りと様々な多岐にわたる仕事があり、その分工夫次第で多くの仲間が参加できる活動でもあります。

業したり、休み時間を削ったりして、なるべくお客さんに迷惑をかけないように頑張っています。そんな仲間の頑張りを評価して下さり、心から応援しようとして下さっている方々の思いが、仲間の心に暖かく響いた涙だったのでは…と思いました。

この活動は資金作りのための販売、というだけではなく、それを通した関わりの中からたくさんの励ましや暖かさ、元気をもらうことができ、本当にうれしく思います。それは次もいろいろ工夫してがんばってみ

げ、まずはみんなの気持ちづくりからスタート！ 初めてということもあって、イメージがわきにくかったのですが、会場の下見などをしていくうちに、夢はどんどん膨らんでいきました。そんな中、「展示会に向けてがんばるぞ！」という積極

大喜び！

展示会当日は、準備の段階からお客様が来られ、幸先の良いスタート！

オープンから午後四時頃まで客足が途切れることなく、二時間近くで、約五十名の方に来ていただきました。

お客様の反応としては、「バザーよりも、展示会の方が織った人の気持ちが伝わりやすい」「実際見ると、色がとてもきれい」「織りに遊び心が入っていて、おもしろい」などの感想を頂きました。

会場のかべに色とりどりのさをり製品
マフラー・タペストリー…etc どれもステキです

と思います。自分の織った

頑張ったよね 私たち

服、マフラーを沢山作った。当日は、「売約済み」の札を作った。

（笹口　隆くん）

巾着袋を作った。織りを工夫して織った。

（吉田　恭子さん）

良かった。「さゆりさんの織りがステキ」と誉められた。

（香川小百合さん）

はじめての展示会でよくわからなかったけど、お客さんが沢山来て良かった。マフラーが売れ残って悲しかった。展示会でやることでみんなが協力できて良かった。又やりたい。

（木村　泉さん）

ラジオのPRで上手く言えて良かった。当日会計でちょこっとミスしてしまった。忙しかったけどみんなで頑張った。もう一回やりたい。

（矢野　紀子さん）

来ていただいたお客さんに、コーヒーを渡す係りを頑張った。

（柿本　英二くん）

お菓子を配ったり、かたづけを頑張った。

（富原　哲也くん）

飲みもの係りをずっと頑張った。

（板村　英二くん）

「みんなでやったなあ」ということが幸せな感じがした。作品に名前があったら良かった。もみじのオリジナリティがもっともっと出せると良いですね。

（ボランティアの高智さん）

研修報告

医療と連携 そしてネットワーク作りを

十一月二十七日(金)、二十八日(土)の両日にわたって、はじめて共作連重度重複障害者部会主催の実践交流集会が開催されました。

もみじ作業所でも、重度重複の仲間が八割以上通っている中、日々の実践や医療との連携の必要性などの悩みを抱えており、実践交流できればと思い、参加しました。

内容は重度重複部会で取り組まれた実態調査の報告、厚生省障害福祉課、赤澤課長補佐による「障害者施設制度による政策動向について」の講演、共作連鈴木理事長による「欧州視察報告―重度障害者の実態」の報告、障害別重度重複障害者の実践報告会、「医療の立場から作業所・施設との連けいを考える」というテーマで石崎朝世氏による講演など、盛り沢山で大きな刺激をもらいました。

障害者施設制度の動向については、今一番気になるものでしたが、残念ながら、これまで厚生省が出したまとめの文言だけで、本当に施設現場の声をしっかり受け止めて提言が作られているのかと、実態とのギャップを感じざるを得ませんでした。

欧州視察の報告では、福祉を推し進めるのは、決して経済事情だけに左右されるものではなく、その国がどういう考え方に立って福祉を推し進めようとするのか、経済破綻を理由に、福祉の公的責任を民間に推し進めようとしているどこかの国とは、かなり実状が違うことを改めて知りました。

また、障害別の実践報告では、一口に重度といっても重度のとらえに幅があり、障害の種別によっても、その特徴の違いから、実践の課題や取り組みが大きく違うことを改めて痛感しました。

しかし共作連らしく、どんなに障害が重くても、発達観に立った一人一人の主体性や自主性を大切にする実践の報告は、関係者の共感を呼び、また意見交換を深め合うことができました。

重度重複障害者の課題は、医療との連けいをはじめ、制度の不備にあり、一作業所の取り組みではなく、ネットワークを広げていく必要があると思います。

井上　一成

行事日誌

＜10　月＞

1日　YMCA実習(～9日)、避難訓練①
2日　もみじ作業所一泊旅行(～3日)
5日　対市懇談
6日　通所者検診③
8日　宿泊訓練
10日　YMCAワイワイバザー 出店
11日　障害児こども祭り 参加
16日　保護者会 例会
17日　吉島小学校PTAバザー 出店
　　生活自立訓練(～19日・A－3)
21日　YMCAビジネス専門学校 見学 来所
22日　宿泊訓練
　　YMCAビジネス専門学校 見学 来所
23日　クラブ活動、新職研修、
　　女学院高校YMCA 見学 来所
24日　広島女子大学 学園祭バザー 出店
　　吉島小学校 バザー 出店
25日　つながり祭 参加
26日　いもほり招待①
　　もみじ福祉会 第26回理事会
28日　広島市精神保険福祉室 他 来所
29日　いもほり招待②
30日　新職研修

＜11　月＞

1日　うたごえ祭典 出演・出店
2日　いもほり招待③
3日　廿糞まつり 出店
4日　歯の学習会(生協歯科ひろしま)
　　生活自立訓練(～6日・B－3)
8日　広島養護学校 文化祭バザー 出店
　　ろう学校 バザー 出店
9日　きっかけづくりの会 見学 来所
11日　経営協相談指導に来所、新職研修
　　ヘルパー講習生 見学 来所
12日　宿泊訓練
16日　「京都・祭衆」出張演奏に来所
　　家裁より実習 来所(～18日)
17日　吉島小PTAバザー 出店
　　生活自立訓練(～19日・C－3)
18日　国際医療福祉学院 見学 来所
19日　吉島小学校との交流会
20日　保護者会 例会
22日　市民フェスタ 出店
24日　レスパイト(～26日)
25日　広島市 指導監査(～26日)
30日　フォード広島㈱ より ワゴン車 寄贈

＜12　月＞

1日　グループホーム「つばさ」開所
　　安佐南区 父母の会 見学 来所
9日　ひかり協会 処遇検討会議
12日　保護者会 忘年会
14日　西福祉事務所 定期調査
　　もみじ福祉会 第27回 理事会
　　西条養護学校より実習(～16日)
　　生活自立訓練(～16日・B－4)
17日　自治会：クリスマス会
18日　保護者会 例会
24日　広島女子大より見学
25日　仲間・職員：大掃除・納会
28日　大掃除
　　職員：忘年会・観送迎会

＜1　月＞

5日　新年互礼会・大もちつき大会
12日　生活自立訓練(～14日・C－4)
18日　広島大学 医学部 見学来所
22日　保護者会 例会
23日　生活自立訓練 (～25日・A－4)
29日　福祉の職場 求人面接会
　　チャリティ絵画展 打合会
30日　さをりグループ
　　第一回 展示即売会

ご寄付をありがとうございました

匿名（南区社協）様
北森　様
ともコン実行委員会　様
吉島女性会　様
児子　敏明　様
朝日生命
広島支部労働組合　様
ノートルダム清心
中・高等学校　様
小迫　克子　様

日本紙運輸倉庫のみなさんと
軽作業グループの太平さん

紙運輸倉庫さんは、平田さんを中心に、自分の会社だけではなく、仕事関係の他の会社にも、この仲間たちの販売活動の輪を広げてくださっています。軽作業グループで働く太平さんは「紙屋さん（日本紙運輸倉庫さんのことは、いつも紙屋さん

リカのケニアに援助活動さ

している団体で、通信紙にも早くから販売活動のことを載せ、多くの人に協力を呼びかけて下さっています。通信紙に、仲間の仕事の様子や販売委員会の活動が取り上げられ、協力を呼びかける記事が載せられており、それをみんなで読んだとき、その中でも、山のような物品が届いたら一気に仕分け、配達と大忙しですが、仕事時間中にできないときは残

ようと、仲間たちがやる気を出し、がんばることのできるエネルギー源なのです。

販売事業活動に参加して

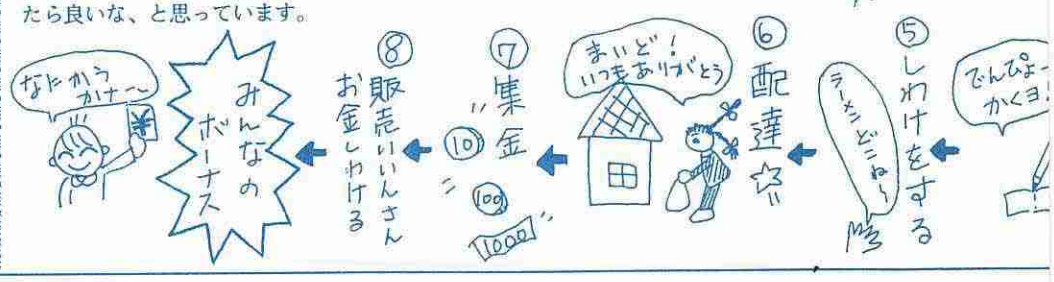
（株）日本紙運輸倉庫　平田祐子さん

私が宇品の支店から吉島のこの職場に転属になって1年10ヶ月になります。前任者の富山さんが宇品の方にも、もみじ作業所の販売事業活動の案内など持って来ていましたので、その頃からこういう活動があることを知り、協力していました。

吉島に来てから年2回、もみじ作業所の職員の方と障害者の方と一緒に来られ、一生懸命話を伝えようとする障害者の方と接して、私自身も優しい気持ちになり頑張って沢山の人達に協力を呼びかけようとしました。

吉島倉庫には、沢山の運転手さんが荷物を引き取りに来られます。最初の頃は1人1人に説明するのに時間がかかりました。すぐ喜んで協力してくれる人、「経済的余裕がないから」と断る人、「関心がないから」と耳を傾けない人、と色々ありました。回を重ねるごとに、今まで断っていた人達も少しづつ協力してくれるようになりました。そして世話好きな人達は、「自分の会社にも呼びかけてくれるよう頼んでみる」と、快く聞き入れてくれて、沢山の人の協力を得ました。私も大変嬉しくて「呼びかけてみて良かった」と思っています。

私も障害者の人達と接触することが今までなかったので、仕事を通じて知り合いになれた事は、本当に良かったと思うし、これからも福祉関係の事に少しでも協力できたら良いな、と思っています。



心配がいっぱい……社会福祉基礎構造改革?!

今回は、今国会での扱いが取り沙汰されている社会福祉事業法の改定の動きの発端となった、社会福祉基礎構造改革なるものの疑問点・問題点について少し考えてみました。

競争で福祉はよくなる?

「社会福祉基礎構造改革に関する報告」の最大の特徴は、「社会福祉法人や民間非営利や民間企業などの競争を通じて良質なサービスの効率的な提供を確保する」とあるように、民間企業等の多様な主体の参入促進を強調していることにあります。

福祉事業内部への多様な事業主体の導入は、イギリスやスウェーデン、ドイツでもなされています。しかし、我が国のように社会資源の整備が遅れ、一人一人にとって必要なサービスの水準についての公的保障が曖昧な土壌では、利用者による「選択」が作動せず、逆に供給主体によって利用者が個別的に選別される恐れが濃厚です。

福祉のサービス供給主体への非営利団体の参入は市民・住民参加の観点から評価できるとしても、株式会社形態の営利企業が参入することは原理的にも問題があります。なぜなら組織の行動原理が利潤獲得にあり、競争施行の企業原理は福祉分野で必要な関連サービスとの連携やボランティア参加を阻害するからです。また、事業の採算割れや企業倒産などにより、ある日突然サービスの供給が止まったり、獲得した利潤が他分野に投資されるほどの、福祉の充実が二の次になる恐れを感じます。

福祉は買うもの?

サービス内容については「公的な費用負担の対象となるサービス」と「自らの負担により購入できる、より快適な環境や付加的なサービス」を組み合わせる仕組みとするとしています。

この、利用者が直接購入する「付加的なサービス」部分が民間企業のターゲットにされていることは明らかです。

社会福祉制度として重要なのは、公的費用負担の対象となるサービスがどのような水準のものとして確保されるかにあります。これが低く抑えられれば抑えられるほど、低い公的サービス水準を補うために、買うサービスの比重が高くなります。これは買う力の乏しい利用者の生活破壊の容認につながります。

悪いのは措置制度?

スウェーデンでも民営化と市場化は進んでいます。しかし、必要とされるサービス範囲や水準の確保、事業費用の負担は国家と自治体が責任を持ち、いわば外枠が厳格に維持されています。その上で公的サービスの供給主体に多様な民間団体を引き入れ、入札制度などの市場制度を導入する戦略をとっているのです。これは、我が国の措置制度という枠組みと民間社会福祉法人の関係に類似しています。ところが「報告」は「現行の措置制度は、一時的に事業の効率性や創意工夫を促す要因に欠け、利用者にとってはサービスの選択やサービス供給者の対等な関係という点で問題がある」と批判しているのです。

措置制度の基本的な性格は、サービスを必要とする人を行政的に認定し、その人に提供されるべきサービスの水準を「最低基準」によって法定化し、かつサービス提供に必要な費用を措置費として支給するところにあり、これによってサービスを必要とする人に対する公的責任を担保する制度になっているところにあります。

必要なのは、措置制度の放棄ではありません。八十年代以降、政府が強めている、生活保護層の部分を抑制する一方、老人ホーム・障害者施設・保育所などの利用者負担の引き上げ、年金制度における公的責任の縮小など、福祉における公的責任の後退政策を改めることなのです。

そして、利用者の権利擁護体制の整備や、選択性の確保に足る施設の整備、高い質のサービス供給を可能にする公的負担水準の引き上げこそ重要なのです。

盛り上がったヨ クリスマス会

十二月十七日(木)に、自治会ひまわり会主催のクリスマス会が、社会福祉センターで行われました。クリスマス会は仲間たちの手作りの会で、各授産グループが一つ一つの企画を担当して、会を盛り上げようと準備を重ねてきました。

おしゃれ?!コンテスト

当日は、日ごろお世話になっているボランティアさんや仲間の様子を知ってもらおうと理事の方を招き、総勢八十六名が集いました。

まず、昌和楽器の中村さんをはじめ八名のみなさんによるミュージックベルの演奏で、クリスマス会がスタートしました。中村さんたちは二年続けてのゲストですが、今年はもみじのテーマソングともいえる「♪ともだち」を演奏していただき、思わず仲間たちから歓声が上がりました。みなさん、ありがとうございました。

また、毎年恒例の「ゲーム」「歌って踊ろう」「カラオケ」「プレゼント交換」では、緊張しながらも頑張って司会をする仲間。「わたしも紅白に出ま～す」と小林幸子顔負けに自慢ののどを披露する仲間。ゲームの司会をすることが楽しみとなり、それまで以上に日常的に仕事を頑張る仲間などがいて、クリスマス会を通して、仲間たちの頑張っている様子や楽しんでいる様子を伺うことができました。

次に、今年初の試みとして「おしゃれコンテスト」を行いました。各グループでテーマを決め、それにそって代表者がおしゃれを競い合うというもので「雪」「白と黒」「花」「アベマリア」などのテーマで、男女一組がそれぞれおしゃれをし、ステージに登場しました。ステージの上ではちょっぴり恥ずかしそうにしている仲間、さながらモデルのようにふるまっている仲間。中には「おしゃれコンテスト」なのか「仮装大会」なのかわからないグループも飛び出し、どよめきや笑い声が沸き上がり、「来年もまたおしゃれコンテストをやりたい」という仲間が多く、初の試みは大成功のようでした。

今年のクリスマス会も仲間たちがいろいろとアイディアを出し合い、楽しい物となりました。特に、準備段階から頑張っていたひまわり会の役員のみなさん、本当にご苦労様でした。

すてきな音にみんなうっとり…

プレゼント交換するよー

共作連がんばるDay

十二月三日、寒空の下、街頭署名に行ってきました！

毎年この日は、共同作業所全国連絡会という組織の「署名がんばるDay」になっており、全国の沢山の作業所が一斉に街頭署名に取り組んでいます。広島でも全国の頑張りに並んで、市内近辺の有志作業所の仲間、職員たちが集まり、本通りを中心に署名活動を繰り広げました。

もみじ作業所からは、七人の仲間が代表で参加し、沢山の刺激を受けました。

寒風の中、まず「がんばろー！」の声かけの後、本通りの各所に分かれて署名が始まり、仲間たちはそれぞれ自分たちの夢を書いたプラカードを掲げ、街ゆく人々に署名への協力を呼びかけていきました。「設備の充実した作業所がほしい！」「一人暮らしがしたい！」仲間たちの訴えている姿に通行人も次第に寄ってきてくれ、「がんばってね」と暖かい声かけとともに、沢山の人たちが署名、募金に協力してくださいました。中には「もみじ作業所知っとるよ、この前テレビに出てたね」と話しかけてくれた人もいて、改めて自分たちの作業所の存在を市民に知ってもらうこと、仲間たちがどんどん社会に出てアピールしていくことの大切さを感じました。

共作連の国会請願署名運動は、今年で二十二年目です。長年の運動を通して、これまでも沢山の成果がありました。これからも、より沢山の人々に私たちの運動を知ってもらえるよう、頑張っていきたいです。

署名おねがいしま～す

請願項目

1. 社会福祉事業法の改正にあたって，たちおくれている障害者施策については，公的責任の原則のもとに，これを飛躍的に拡充してください。
2. 障害者施設制度・体系を再編してください。とくに重度障害者を対象とした通所型施設の創設，精神障害者関連施設を緊急に整備してください。
3. 小規模作業所を社会福祉事業法等に位置づけ，通所授産施設等と同水準の補助金を交付してください。当面，現行の国庫補助金制度を根本的に改めてください。
4. グループホーム・福祉ホームなどの住まいの場への補助制度を充実させ，介護や権利擁護を含む総合的な地域生活支援システムを確立してください。

輝け！New Face

木村　忠孝さん

十月から、印刷グループでお世話になっている木村です。明るく力いっぱい仕事をしている仲間と一緒に勉強していこうと思います。何事もマイペースなのでいろいろとご迷惑をかけるかも知れませんが、よろしくお願いします。

宮内ゆかりさん

九月から、自立訓練と宿泊訓練、十二月からグループホームの世話人を担当しています宮内です。三年前までは建設会社の経営者でした。主人を癌でなくして会社を引退。一年間、福祉の勉強をして、社会福祉士の資格を取得しました。障害者福祉に関する実務経験がないので、もみじ作業所で実践勉強させていただいてます。色々と学ぶことが多く、価値観も変わります。よろしくお願いします。

ノ後援会コーナー

～ありがとうございます～

平成10年度会費を納入頂いている個人・団体の皆様（前号続き,敬称略）

信東　昭	重富　寛	寺川　多恵子
鈴木　繁美	内藤　政邦	熊谷　雅美
藤解　詮雄	久笠　信雄	渡辺　美那子
井上　亮	石井　孝典	宮内　ゆかり
田中　茂雄	山岡　靖子	吉島女性会
藤葉　友子	広田　隆雄	木戸　ゆかり
藤葉　忠彦	植田　治子	藤葉　祐造
森原　和子	園山　土筆	大塚　貞子
山岡　信義	深屋　恵子	有田　美由樹
久保　正道	木島　国枝	対尾　伴子
亀田　咲子	吉光　貴子	白石　禎三郎
野津　訓子	功野　健	村上　千代子

仲田　仁　　ひかり協会労働組合

吉島学区民生委員児童委員協議会

《予　告》

後援会では，来る5月6日～11日，広島在住の画家の皆様のご協力を頂き，中区大手町の『てんぐギャラリー』にて「グループホーム・身障ホーム支援-チャリティー絵画展」を開催します。その節はぜひお立ち寄り下さい。